

夢をかたちに

令和6年度
出水商業高等学校
進路指導部
進路便り
No.1 2024.4.26

予測して動く



令和6年度がスタートしました。今年度も進路指導部では、皆さんの進路実現を図るために様々な行事等を通し、皆さんへのアドバイスやサポートをしていきたいと考えています。今年度の主な進路行事は下記に示したとおりとなっています。一つ一つが貴重な行事になると思いますので、各自で意欲的に取り組んで進路実現を図りましょう。

〈R6進路指導部関連の主な行事〉

5月23日(木)	志望理由書ガイダンス	3学年
6月4日(火)	第1回基礎力診断テスト 小論文模試	全学年 2・3学年
6月5日(水)	一般常識テスト(3年) 適性検査(2年) クレペリン検査(1年)	全学年
6月7日(金)	卒業生体験発表会	全学年
6月10日(月)	校内進路ガイダンス	2・3学年
6月20日(木)	第2回合同LHR(人権統一応募用紙・校内選考)	3学年
7月19日(金)~8月2日(金)	三者面談	3学年
8月1日(木) 8月2日(金)	校内選考推薦依頼書兼誓約書(進学総合型)提出期限 校内選考推薦依頼書兼誓約書(就職・進学)提出期限	3学年
8月6日(火) 予備日:7日(水)	校内選考会(進学総合型選抜)	3学年
8月20日(火)・21日(水) 22日(木)予備日:23日(金)	校内選考会(就職・総合型以外の進学)	3学年
8月26日(月)	応募書類提出締切日	3学年
9月2日(月)	第3回合同LHR(受験について等)	3学年
9月9日(月)	進路出発式	全学年
2月21日(金)	3年生進路体験発表会	1・2学年

進路実現は、先を読んで迅速に行動をすることで自らの状況を変えることができます。3年生は『未来へ翔く』に進路決定への道筋が記載されています。まずは現状把握を徹底し、将来の目標を定めてほしいです。

また、年に3回「キャリア・パスポート」を活用したLHRが計画されています。1年次から自分の計画や取り組みを記入することで、自らを振り返り成長させましょう。また各種大会・検定がなくなれば、この記録こそが大切になってきます。進路に役立てていくためにもしっかりと取り組みましょう。1年生は、中学生の時に使用していたファイルを学校へ持ってきて担任の先生へ預けてください。2年生は、「進路適性検査」や「職場体験学習」を通して自分の興味関心や適性を意識し、充実した将来への計画を立ててください。

3年生は、7月5日(金)には第1回の求人公開も始まる予定です。進学についても例年であれば総合型選抜が夏季休業中に始まる上級学校もあります。各自の進路実現に向けて今できることから始動しましょう。

進路室の紹介

今年度は倉谷光英先生（商業 3－2 副担任）、執印まり先生（英語 3－4 副担任）、前屋匠吾先生（地歴公民 3－1 担任）、加塩卓朗先生（国語 3－3 担任）、浦田渉先生（商業 3－4 担任）、土屋香寿美先生（進路補助）の6名の職員が常駐しています。進路等で質問や相談があるときは気軽に声をかけてください。

*進路資料室にある資料 ① 大学・短大・専門学校のパンフレット ② 過去の試験問題
③ 昨年度の求人票（今年度分は7月7日以降）

*進路室にある資料 ① 過去の先輩方の受験報告書 ② 推薦・AO入試年鑑

進路室への入室方法

進路指導部では皆さんが就職・進学試験や卒業後に困らないように挨拶・マナー指導を徹底しています。進路指導室に入るときには次のことをしっかり守ってください。

- ① 入室前に髪型・服装を整える。
- ② スリッパは入口靴箱に入れる。
- ③ 入室は**進路資料室側から**入室すること。※進路室の外側から覗き込まないこと。
- ④ 入退室の動作は、入口のドアに記載してあります。確認して行動しましょう。

〈お願い〉進路室には企業や、上級学校の担当者の方が来られます。

進路室前は特に静かに通るようにしてください。



令和5年度		進学(62名 50.8%)			就職(60名 49.2%)			その他	合計
		大学	短大	専修学校等	学校ルート	公務員	縁故自営		
商業	男子	3		7	12		1		23
	女子	1	1	18	14				34
情報処理	男子	3		16	18	1			38
	女子	1	5	7	12	1	1		27
合計		8	6	48	56	2	2		122

卒業生の進路状況

令和6年3月卒業生

令和5年度卒業生の進路状況は、上記のとおり**50.8%が進学**、**49.2%が就職**となっています。卒業までに全員の進路が無事決定しました。近年進学志向が高まっている中で、昨年度は半数が就職しました。3年生はいよいよ一生を左右する大切な決定をしなければなりません。進学希望者は、資料請求をし、進学情報誌や各学校のホームページなどから情報を集め、進学先の就職状況なども参考にして、いくつかの学校を比較検討することを薦めます。学費などは募集要項に書いてあります。進路資料室を活用して、よく調べておきましょう。就職希望者は、自分の適性をよく考えて、ミスマッチにならないように企業を見る目を養い、昨年度の求人票を参考に検討しましょう。しかし、昨年あった求人が今年あるとは限りません。複数の企業を検討しておきましょう。厳しい採用試験を乗り越えるためにも、今できることを積極的に実践すべきです。家族や先生方ともよく話し合い、自分を生かす進路選択をしましょう。学校職員全員で応援します！